

地域と農業を結ぶ、ふれあいと絆の発信源

Agresh

2021. VOLUME.133

4

あぐれっしゅ



腕 じまん

地域じまんのモノ語り

特産ゴボウはアレンジ多彩

野菜ソムリエプロで首都圏在住の知久幸子さんが考案した、特産ゴボウを使った簡単レシピです。保存しておけば、細かく刻んでチャーハンの具材に、またサラダにぱっとかければ味のアクセントになります！是非、試して免疫力アップにつなげましょう。

ゴボウの中華風ピクルス



材料(475mlの保存瓶1本分)

- ・ゴボウ…… 1本(250g)
- ・合わせ調味料A
- ・酢…… 150ml
- ・醤油…… 40ml
- ・砂糖…… 大さじ2と1/2
- ・ごま油…… 小さじ1
- ・赤トウガラシ(輪切り) 少々



シャキシャキ食感がクセになる。 アレンジレシピ

作り方

1. ゴボウは8cmの長さに切り揃えてから4等分(太い部分は6等分)にし、煮沸消毒した保存瓶に詰める。
2. 小鍋にAの調味料を全て入れ、軽くひと煮立ちさせたら熱いうちに1の瓶に注ぎ入れる。
3. 粗熱がとれてから蓋をして、冷蔵庫に入れてひと晩漬けておく。



ゴボウには、善玉菌のエサとなる食物繊維とオリゴ糖が豊富に含まれています。ゴボウ+発酵食品で腸内環境を整え、免疫力アップに努めましょう。保存瓶がないときは保存用ポリ袋に入れて、空気をしっかり抜いてください。冷蔵庫に入ると1週間ほど日持ちします。
*ゴボウの皮にも栄養が詰まっているので、むかあに使用しましょう。
*泥つきの場合はアルミホイルで磨きながら洗うとキレイに落とせます。

特集 みなさんの声を

お聞かせください

地区別懇談会を

9支店1事業所で開く



JAは地域社会の発展のためにSDGsの達成を期しています。

こよい度プロジェクト

新しいチカラ
一生懸命頑張ります!

ファーマーズマーケット
かだあ〜れ



令和3年度採用 新人職員

直売課 かだあ〜れ 情報

かだあ〜れ 営業時間 9:00~18:00
定休日 毎月第2水曜日

2929(肉肉)フェア 4/29(木)・30(金)



十和田湖和牛、「おいらせガーリックポーク」の焼肉用が100円あたり
10%OFF!!
*試食販売は行っておりません

春のパン祭り開催中 4/28(水)まで



1袋でスタンプ1個
ベーカリーコーナーのパンを買って旬の野菜をGETしよう!
*旬の野菜は変動します

毎日のお買い物がもっと楽に! 4/1(木)~
「かだあ〜れ」が、十和田市街地循環バスの停留所となりました。ぜひご利用ください。



公式Facebook
JA十和田おいらせ

■令和3年4月16日発行 ■発行/十和田おいらせ農業協同組合 〒034-0081 青森県十和田市西十三番町4-28 TEL.0176-23-0311 FAX.0176-24-1829
■編集/JA十和田おいらせ 広報編集委員会 ■公式ホームページ <http://www.jatowada-o.or.jp> ■Email/youmu@jatowada-o.or.jp ■印刷/アート印刷

特集

みなさんの声をお聞かせください

～地区別懇談会を9支店1事業所で開く～

3月1～5日までの5日間、本支店など10カ所の会場で地区別懇談会を開きました。農家組合員112人出席のもと、令和2年度の事業動向や事業別の活動状況などを説明しました。
今回の特集では、各会場の主な質疑応答を紹介します。



令和2年度 野菜の各種対策事業に関する実績報告

種苗費助成、利用奨励金など、 対象農家へ総額約1億3,200万円を支援

やさい産地拡大対策事業に係る助成金の支払い

(対象期間: 令和2年4月1日～令和3年3月31日まで)

品目助成	対象農家戸数	助成金額(税込)
品目助成	41戸	1,164,100円
ムカゴ種苗費購入助成	229戸	5,042,200円
土壌診断料助成	943戸	1,856,800円
労働力対策(ニンニク作業機械導入助成)	7戸	7,700,000円
計		15,763,100円

支払年月日: 令和3年3月23日(火)

やさい集荷対策金の支払い

(対象期間: 令和2年1月1日～令和2年12月31日まで)

やさい集荷対策金	対象農家戸数	助成金額(税込)
やさい集荷対策金	1,453戸	53,935,561円

支払年月日: 令和3年3月24日(水)

肥料・農薬・ダンボール奨励金の支払い

(対象期間: 令和2年1月1日～令和2年12月31日まで)

肥料ランク奨励金(供給額20万円以上)	対象農家戸数	助成金額(税込)
肥料ランク奨励金(供給額20万円以上)	1,694戸	34,643,544円
農薬大口利用奨励金(供給額100万円以上)	222戸	9,886,984円
ダンボール出荷奨励金	1,283戸	17,988,527円
計		62,519,055円

支払年月日: 令和3年3月24日(水)

※3月理事会だより資料

告知版

総務部

4/1(木)からの営業時間です。

営業時間: 8:00～17:00

期間: 令和3年10月31日まで

※詳細については各支店・各施設等に掲示しています。

米穀畜産部

「十和田湖和牛」の牛肉即売会開催

JA牛肉まつり中止に伴い、牛肉即売会のみ行います。

4月29日
(祝日)

開催時間: 午前9時より 売り切れ次第終了します

開催場所: ファーマーズ・マーケット「かだあ〜れ」特設会場
十和田市三本木里ノ沢41

※マスク着用と受付での検温、
連絡先のご記入をお願いします。
※開催場所内の飲食はお断りさせて
いただきます。



※詳しくは外務チラシで確認ください。

金融部

5月ローン相談会 (本支店のご案内)

開催時間

9:00～15:00

開催日	相談会場
8日(土)	むつ
15日(土)	本店、大深内・藤坂 ももいし・下田・上北 十和田湖・七戸・横浜町
22日(土)	むつ

農業機械・農業に関わる
設備資金等の相談も承ります。

日頃のご愛顧に感謝を込めて

年金来店感謝デー

6月15日(火)～

金融各窓口 先着50名様



当JAで年金を受け取りのお
客様で、感謝デーの開催期間に
ご来店いただいた方へ、プレゼ
ントを用意しています。ご来店
をお待ちしております。



JAネットバンクが便利です!

いつでも、どこでも、手軽で便利!! インターネット
にアクセスするだけで、振込や税金・公共料金支
払い等のさまざまな取引ができるサービスです。

JAネットバンクの申込はこちらから

JAネットバンク

<https://www.jabank.jp/>



※「定期貯金機能」「各種ローン機能」「カードローン機能」は、JAや取引条件によってお取扱いできない場合や、一部機能に制限を設けている場合があります。
※「マネーフォワード(簿記簿アプリ)」は、株式会社マネーフォワードが運営しております。JA/バンクの運営ではありません。



特集 3～5p

みなさんの声をお聞かせください
地区別懇談会 Q & A

NEWS&TOPIC

地域の話 6～9p

あぐれっしゅ情報① 10p

新部長紹介

あぐれっしゅ情報② 11p

JA十和田おいらせは
SDGsに取り組んでいます

あぐれっしゅ情報③ 12～15p

新採用職員紹介、人事異動

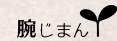
あぐれっしゅ情報④ 16p

採用募集
～私たちと一緒に働ませんか?

ふれあい広場
頭の体操 パズル? 17p

information

18～19p

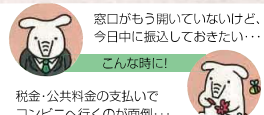


地域じまんのモノ語り 20p

特産ゴボウはアレンジ多彩

JAの概況 令和3年4月1日現在

正組合員数	6,333人
准組合員数	5,220人
役員数	26人
職員数(准職・嘱託含)	282人
貯金高	832億6,191万円
貸出高	176億 591万円



税金・公共料金の支払いで
コンビニへ行くのが面倒...

懇談会 質疑 応答

やわら・指導

Q 「暴風雪被害支援」の具体策は何か。

A 管内の7市町村に対し、支援要請をしました。要請内容は、「二ノ川ハウス等農業施設の復旧に対する支援、融雪剤購入に対する支援、被災施設復旧に係る資金への利子助成等。そして後付けの支援策となりますが、ハウス資材の決済は、秋払いにしたいと検討しています。また、今回の国の雪害関係補助金については、事前着工が可能なことから、まずはハウス建設資材等の発注をお願いします。

Q ニノ川の単価が、地場市場とJAの市況との価格差がでた要因は何か。

A 県内の特定業者が買い付けしているのが要因で、規格に揃って重点市場より地場市場の方が高い場合もあります。相場を注視し、県内市場への販売数量を増量させ、高値販売に努めます。

Q 家畜預託制度で、連帯保証人免除は可能か。また、アグリマインナー資金での資金対応は可能か。

A 預託家畜も経営計画が適正であれば資金対応できます。保証については、信用基金協会保証となります。

産直

Q 産直施設「かだあ」の来店者状況は。

A 12〜1月の冬期間は、例年より寒さが厳しく米客数も減少傾向でした。2月は、1日当たりのレジカウンター数が平均600件と回復しています。来店者は午前中に集中しています。管内産の農林水産物の販売をメインとしたイベントを月に1回開催し、集客対策を講じています。

Q 陳列している商品は、JAのほうに管理しているのか。

A 出荷会員のほか、「かだあ」れいスタッフも商品の品質、傷み具合、出荷回数等を確認しています。

Q ニノ川仮渡金は、市況に見合った設定でしょうか。

A スホットのな高値なのか、継続的に推移するものなのか判断に時間を要し、仮渡金の見直しが遅れました。今後は、随時対応するように検討します。

Q ナガイモの現在の市況は、どのような状況か。

A 2年産は北海道産のナガイモが豊作だったため、下位等級品の価格が上がらない状況にあります。A品で3000円を超えている方、発生割合の高いC品以下については、厳しい価格状況です。

Q ナガイモのストレッチコンテナが不足している、確保してほしい。

A 町にストレッチコンテナ100基分の助成を要請しています。また、レンタルコンテナの対応も検討しています。(横浜町支店)

Q ナガイモ、パレイショの倉庫が不足している、対応策はあるか。

A 米倉庫を一時保管場所として検討しています。合わせて、町には倉庫内整備を令和4年度申請でお願ひしてあります。(横浜町支店)

Q 夏秋イチゴの新規就農者増加に伴い、種苗費の助成をしてほしい。また、出荷体制について対策を考えて欲しい。

A 種苗費助成は、振興会と協議します。出荷体制を整えるため昨年、支店の冷蔵庫を整備しました。また、イチゴの新規就農支援対策および販路も前向きに進めており、下北地区の担い手育成塾も検討しています。(むつ支店)

Q 営農指導体制および肥料、農業の指導を徹底してほしい。また、薬剤効果の情報発信をしてほしい。

A 指導員のスキルアップに向け、個々に年間の試験課題を与え、圃場での試験栽培や生育調査などを行っています。その調査結果や成果報告は、指導員同士が共有し、また講習会等で農家へつないでいます。タブレット等の活用により、今まで以上に情報共有と効果の情報発信に努めています。

Q 秋コボウ入庫時は、ニノ川施設周辺を使用している。日かげがないため出荷物が傷むので、下屋等の対策をお願いします。

A 現場を確認して対応策を検討しています。(下田支店)

Q JA職員について、挨拶や応対等がなっていない。指導員については営農のプロを育成し、農家に向かかないと集荷に繋がらないと思う。

A 職場の活気、ふれあいへのため、再度周知致します。営農指導員については育成に時間を有するため、応急対策として退職した職員への対応を考えています。指導技術の向上とスキルアップを図る取り組みに努めます。

Q 高齢化に伴う労働力確保について、新規事業はあるか。

A 労働力支援については、JA青森中央会で実施している「青森県農業労働力求人マッチングサイト」も活用できます。なお、求人マッチングサイトに掲載する際は、当JAの農業総合支援室(017-2310315)が相談窓口となっております。お気軽に相談ください。



米穀産産

Q 令和3年産米(主食用)の価格下落を予想されるが、種子助成等を検討してほしい。

A 種子助成については、行政と連携するなど検討していきます。生産者の方々には、需要と供給のバランスを考慮いただき、飼料用米への作付け転換をお願いしています。

Q まつばらの販売状況を説明してほしい。

A 元年産米は完売しておりますが、「コナ」による外食産業の低迷もあり、米の消費量は依然伸び悩んでいます。2年産米は概算金を下回らないよう慎重に交渉しています。

Q カントリーエレベーター(以下「コエ」)の出荷米はフレコン出荷と聞いているが、CE構算明細書で包装代が控除されているのはなぜか。

A 包装代(フレコン)含みの概算金支払いとなりました。

購買

Q 担い手向け大型規格の「予約注文書」も作成してほしい。

A 担い手向けなど、よりの組合員目録での注文書作成に取り組みます。

働き方

Q エコーのスタンド部門の3月未見込みについて、計画対比の84%の原因は何か。

A 「コナ」の影響で総取扱量が減っています。また、仕入れ価格の下落に伴い、供給価格も下げたことが取扱量の減少理由です。

【留意事項】

- ① 若い人がJA運営に参画できるような、十和田地区の役員選出を地元に戻してほしい。
- ② 肥料の銘柄をさらに集約する「コエ」リスト削減にむかいます。営農指導員への対応をのぞいてください。
- ③ 新設CE建設用地に面した市道は事故が多いため、信号機設置の陳情をお願いします。

2 旬を新幹線でお届け
～県内で初の試み～

当JAは3月12日、東京駅のグランスタ東京内で開催された東北の活力を伝えるイベント「TOHOKUフェアIn東京駅」で農産物を販売するため、新幹線輸送に初めて挑戦しました。今回は足掛かりに、夏場の収穫シーズンから旅客高速バスでの輸送も計画中です。

この日は、旬の山ウドや小松菜、アスパラ菜など、採れたて野菜8種類の他、ナガイモの真空パックや黒ニンニクリングなどを用意。新青森駅発で東京行のJR東北新幹線に段ボール120サイズ、15梱包を積み込みました。

新幹線や旅客高速バスの空きスペースを活用することで、より鮮度の高い状態で供給ができるほか、輸送コスト低減も期待できます。



▲当JAの農産物を積み込むJR職員



▲鮮度の良さや品質の高さで人気を集めた売り場（東京駅内）

4 6月完全実施へ現地研修
～衛生管理など確認～

JA青森中央会主催のHACCP（ハサップ／製造工程を管理する手法）現地研修会が3月22日、JA本店と、やさいセンターの加工所などで行われました。6月の完全実施に向け、県南4JA、全農あおりの職員ら22人が制度化の現状と、現地での衛生管理などを確認しました。

主催者側の阿保潤司農業支援課長は「工程のどこに危険が潜んでいるか理解するとともに、実施状況の記録と保存を徹底して欲しい」と参加者に呼びかけました。馬場義満指導やさい部長は「研修会参加により、既存施設や手順書の見直し箇所が明らかになった。早期修正に取り組み、従事する職員等へ周知していきたい」と述べました。



▲研修に参加した県南地区のJA職員ら

1 出荷会員増へ講習
～売れる野菜づくり～

ファーマーズ・マーケット「かだあ〜れ」の出荷会員増に向け3月8日、JA本店で野菜の栽培講習会を開きました。現在の出荷会員は200人で、年内に300人超えを目指します。

テーマ「直売所おススメ野菜」の講習会には出荷会員や会員以外の農家ら100人が集まりました。地元の種類会社の社員が、品目や品種ごとの作りやすさ、味の特徴を伝えました。JAからは、土壌診断結果に基づく健康な土づくりによる高品質・収量のアップなど、効果を紹介しました。

出荷会員の受付や問い合わせは「かだあ〜れ」、
電話0176(51)4020



▲種苗会社の説明に耳を傾ける参加者

NEWS TOPIC 地域の話

JA事業におけるSDGsの取り組みです。SDGs（エスディーゼス）とは、人類が直面している「貧困」「飢餓」「環境」などの課題を認識し、「持続可能な世界」実現のために2015年9月の国連サミットにおいて採択された、開発途上国だけでなく、先進国も含めた全世界共通の取り組み目標です。17の目標を掲げ、2030年までの達成を目指して世界各国で取り組みが進められています。

8 最新から中古まで
9 農機がずらり
～春の農機、自動車展示会～

JA十和田おいらせグループは3月19、20の両日、ファーマーズ・マーケット「かだあ〜れ」の駐車場で「春の農機・自動車展示会」を開きました。最新アシスト機能を搭載した田植え機やコンバインのほか、生産者が必要としている中古のフォークリフトやトラックの展示販売も行いました。

会場では14メーカーの各農機、自動車類を50点以上展示。作業効率を高める農業散布ドローン（小型無人飛行機）の実演会では、農機メーカーの担当者が搭載機能を説明し、購入メリットとして「最初の設定を終えれば、手軽で簡単に利用できるので、作業効率もあがる」と話していました。



▲ドローンによる農業散布の実演会を見学する農家ら

会場の一角では、JA女性部の「きりたんぼ」や「ながいもドーナツ」、かだあ〜れの「すいとん」を販売し展示会を盛り上げました。



▲「きりたんぼ」を販売する女性部十和田支部のメンバー



▲表示機材の機能を確認する農家

2 高知県の産直と産地間交流
10 ～「かだあ〜れ」から土佐の食を提供～

ファーマーズ・マーケット「かだあ〜れ」に、3月26日より高知直送の販売コーナーを設置しました。高知市内にあるJA運営の「とさのさと」と産地連携し、当JAからは春掘りナガイモや旬野菜、黒ニンニクなどを供給していく計画です。

商品棚には特産のゆずを原料にしたドレッシングや魚・肉の旨さを際立たせる「ゆずこしょう」、果物「文旦（ぶんたん）」、旬野菜のニラ・ミョウガなどが並んでいます。直売課では「JAグループのネットワークを生かした豊富な品ぞろえで集客を図り、出荷会員や農家の所得増大につなげたい」と話しています。



▲高知直送の商品をPRする「かだあ〜れ」のスタッフ

11 12 省力・低コスト生産めざす
～稲作振興会総会～

JA稲作振興会は3月5日、本店で通常総会を開きました。坪刈り共励会表彰では、総合の部で最優秀賞に輝いた立崎竜子さん(大深内支部)ら4人の入賞者に賞状と記念品が贈られました。

総会には部会員ら35人が出席。令和2年産米は計画数量約36万2千俵に対し、取り扱い実績が34万4千俵と達成率は95.1%(元年産米96.7%)でした。コロナ禍による米消費の低迷、農家の高齢化などから、新年度は省力・低コストに向けた栽培体制の確立などに取り組んでいくことを申し合わせました。

その他、共励会の成績は次の通り。

- 総合の部 / 優秀賞……山崎勝晃(大深内支部)
石橋清光(藤坂支部)
良食味の部 / 最優秀賞…苦米地一(藤坂支部)
多収の部 / 最優秀賞…山崎勝晃(大深内支部)
—敬称略



▲新年度計画などを確認

4 8 採血結果で肥育指導
～優良生産者を表彰～

JA肥育牛部会は2月25日、本店で通常総会を開きました。年間の優良生産者表彰では、枝肉販売で190万円超えの最高額を記録した小笠原治さん(十和田)ら2人を表彰しました。

総会には部会員、JA役員ら20人が出席。氣田重由部会長は「コロナ禍で枝肉価格が低迷した一方、ファーマーズ・マーケットかだあ~れでの「十和田湖和牛」の販売がスタートできた。販路拡大、地元での消費が可能になったのは大きい」と述べました。

同部会では、十和田市の北里大学獣医学部や、県認定「肥育伝道師」の折田勝男さんと連携し、牛の採血に基づき飼養管理をアドバイスし、肉質向上を図っています。

9 12 令和2年度 野菜の
年間販売額75億1千万円
～収量減の影響大きく～

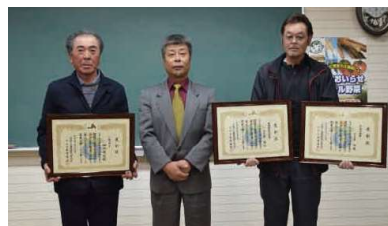
JA野菜振興会は2月26日、本店で通常総会を開きました。令和2年度(1~12月末)は、夏場の不順天候により収量が平年より大きく下回ったことが影響し、販売金額は計画対比92%の75億1千万円となりました。

総会には部会員ら40人が出席。あいさつで、同振興会の小田正喜会長は「コロナ、異常気象と目に見えないものとの戦いだった。JAとの信頼関係を構築し、力を合わせ農家所得の増大を目指そう」と述べました。

新年度の販売目標金額は81億円とし、健康な土づくりによる高品質・安定生産を目指すとともに、生産コストの低減、スマート農業の実践に取り組んでいく方針です。



▲「力を合わせ所得の増大を目指そう」と呼びかける小田振興会会長



▲優良生産者表彰を受けた畑山さん(写真左)、氣田部会長、小笠原さん(写真右)

その他の受賞者は次の通り。

- ◇キロ当たり最高単価(3,507円) = 小笠原治
◇上物率100% = 畑山廣志(年10頭) —敬称略

8 中野渡さん(去勢)米冠
～「白鵬85の3」で初～

当JAと十和田市黒毛和種改良組合は3月5日、三本木畜産農協で子牛管理品評会を開きました。去勢の部でチャンピオン賞に輝いた同市の中野渡成人さん出品牛「八雲」は、鳥取県から導入している「白鵬85の3」の産子で、導入以来初の快挙となりました。

この日は、同市の畜産農家が育てた生後12カ月以内の雌牛30頭、去勢30頭が出品され、雌牛の部では同市の小笠原嘉正さん出品牛「ほのか」(父「第1花園」、母の父「安福久」、母の祖父「百合茂」)が米冠を手に入れました。

「白鵬85の3」は、肉質の良い気高系で、肉量も優れています。平成30年度から十和田市優良雌子牛導入事業を活用し、令和2年12月までに計94頭を導入しています。

その他の受賞者は次の通り。



▲「白鵬85の3」の産子で去勢の部のチャンピオン賞に輝いた「八雲」と中野渡さん親子



▲雌牛の部でチャンピオン賞受賞の「ほのか」と小笠原さん

- ◇優秀1席▷雌牛の部 = 前川原正義 ▷去勢の部 = 小山石達也
◇優秀賞 ▷雌牛の部 = 久保英美、沢目喜代人、小原大 ▷去勢の部 = 小笠原嘉正、太田真、中野渡成人
—敬称略

2 13 ニンジン春まき作業盛ん
～べた掛け栽培で生育促進～

おいらせ町地区で、3月中旬から4月上旬にかけて、ニンジンの春まき作業が盛んに行われました。播種後、不織布等のべた掛け資材を使用し、適度な保温や防霜で生育促進を図ります。県内で最も早く収穫できる優位性を活かし、高品質出荷による売り場確保で有利販売を目指します。

同町豊原地区の笹森毅さんは3月24日、家族、作業員らと播種作業を繰り返しました。作付面積2.5ヘクタールのうち、1.4ヘクタールをべた掛けで栽培。笹森さんは「前年産は高値が続いた。その反動がなければよいと願う。コロナ禍で消費動向は読めないが、良いものを作り続けたい」と述べました。



▲ニンジンの春まき作業をする笹森さん